

ニッタ株式会社

製品名	伸縮装置名 (型式名)	常時性能				レベル1地震時性能						重量 kg/1.8m ※kg/m	区分け 軽量型 =軽 普通型 =普 重量型 =重	構造 形式	備考
		標準性能				橋軸性能				橋軸直角性能					
		設計伸縮量 (mm)	最小遊間 (mm)	標準遊間 (mm)	適用最大 床版遊間 (最低温度時) (mm)	中心基準温度からの 許容伸縮量(mm)		限界状態1の 耐荷性能 (kN/m)		中心基準温度からの 許容伸縮量(mm)	限界状態1の 耐荷性能 (kN/m)				
						伸び	圧縮	伸び	圧縮						
ワンダーフレックス ジョイント	WF200-120	120	140	200	260	120	80	53.1*	41.3*	80	20.7*	259	重	B	定尺1.2m
	WF300-200	200	200	300	400	200	120	98.1*	56.5*	120	19.4*	453	重	B	
	WF400-280	280	260	400	540	205	170	78.9*	99.9*	150	18.2*	615	重	B	
	WF550-300	300	400	550	700	300	170	78.3*	89.3*	200	8.3*	816	重	B	
トランスフレックス ジョイント	TF-S	35	17.5	35	52.5	20	35	37.8	-	54*	-	22	軽	B	特殊型枠不要
	TF-S50	40	30	50	70	40	40	48.6	-	40*	33.0*	39	軽	B	
	TF No.35	35	17.5	35	52.5	45	35	57.1	-	102*	117.6*	33	軽	B	
	TF No.45	45	22.5	45	67.5	55	45	70.1	-	112*	107.8*	41	軽	B	
	TF No.50	50	25	50	75	50	50	62.4	-	116*	78.4*	49	軽	B	
	TF No.60	60	40	70	100	60	70	80.0	-	125*	98*	62	普	B	
	TF No.70	70	50	85	120	65	85	81.9	-	136*	88.2*	74	普	B	
	TF No.80	80	60	100	140	65	100	75.6	-	146*	98*	87	普	B	
	TF No.100	100	70	120	170	110	120	151.5*	-	164*	88.2*	155	普	B	
	TF No.160	160	40	120	200	148	80	58.0*	29.4*	280*	49*	254	重	B	
	TF No.230	230	45	160	275	195	115	67.4*	39.2*	375*	49*	365	重	B	
TF No.330	330	50	215	380	275	165	82.9*	39.2*	225*	29.4*	711	重	B	定尺0.9m	
フィンガーフレックス ジョイント	FF250-120N	120	60	250	310	60	75	12.6	-	0	-	475	重	A	標準地域仕様 NEXCO仕様あり
	FF350-200N	200	250	350	450	100	115	12.6	-	0	-	608	重	A	
	FF450-270N	270	315	450	585	135	150	12.6	-	0	-	741	重	A	標準地域仕様
	FF250-120S	120	60	250	310	60	75	12.6	-	0	-	497	重	A	寒冷地域仕様 NEXCO仕様あり
	FF350-200S	200	250	350	450	100	115	12.6	-	0	-	636	重	A	
	FF450-270S	270	315	450	585	135	150	12.6	-	0	-	773	重	A	寒冷地域仕様

備考 : 橋軸方向圧縮時において側板またはフェイスプレートの接触により遊間がなくなる場合

* : 実測値

(注) 上記製品は、改良などにより予告なしに変更することがあります。
中心基準温度とは橋種における温度変化量の中心の温度である。

構造形式記号

A: 鋼材

C: G+鋼材

B: G+M

D: 特殊合材

ニッタ株式会社

製品名	伸縮装置名 (型式名)	常時性能				レベル1地震時性能						重量 kg/1.8m ※kg/m	区分け 軽量型 =軽 普通型 =普 重量型 =重	構造 形式	備考
		標準性能				橋軸性能				橋軸直角性能					
		設計伸縮量 (mm)	最小遊間 (mm)	標準遊間 (mm)	適用最大 床版遊間 (最低温度時) (mm)	中心基準温度からの 許容伸縮量(mm)		限界状態1の 耐力性能 (kN/m)		中心基準温度からの 許容伸縮量(mm)	限界状態1の 耐力性能 (kN/m)				
						伸び	圧縮	伸び	圧縮						
SPジョイント	SP20N	20	58	68	78	15	15	0.2	-	15	-	53	普	A	標準地域仕様 NEXCO仕様あり (SP36N除く)
	SP30N	30	60	75	90	20	20	0.2	-	20	-	59	普	A	
	SP36N	36	66	84	102	23	23	0.2	-	23	-	61	普	A	
	SP50N	50	86	111	136	30	30	0.3	-	30	-	95	普	A	
	SP70N	70	106	141	176	40	40	0.4	-	40	-	132	普	A	
	SP80N	80	114	154	194	45	45	0.4	-	45	-	138	普	A	
	SP100N	100	159	209	259	55	55	0.6*	-	27	-	244	普	A	
	SP20S	20	58	68	78	15	15	0.2	-	15	-	59	普	A	寒冷地域仕様 NEXCO仕様あり (SP36S除く)
	SP30S	30	60	75	90	20	20	0.2	-	20	-	65	普	A	
	SP36S	36	66	84	102	23	23	0.2	-	23	-	67	普	A	
	SP50S	50	86	111	136	30	30	0.3	-	30	-	100	普	A	
	SP70S	70	106	141	176	40	40	0.4	-	40	-	137	普	A	
SP80S	80	114	154	194	45	45	0.4	-	45	-	147	普	A		
SP100S	100	159	209	259	55	55	0.6*	-	27	-	261	重	A		
CWジョイント	CW20R	20	58	68	78	15	15	0.2	-	15	-	51	普	A	標準地域仕様
	CW30R	30	60	75	90	20	20	0.2	-	20	-	58	普	A	
	CW40R	40	78	98	118	25	25	0.3	-	25	-	80	普	A	
	CW50R	50	88	113	138	20	20	0.3	-	20	-	97	普	A	
	CW60R	60	98	128	158	35	35	0.4	-	35	-	112	普	A	
	CW20S	20	58	68	78	15	15	0.2	-	15	-	59	普	A	寒冷地域仕様
	CW30S	30	60	75	90	20	20	0.2	-	20	-	65	普	A	
	CW40S	40	78	98	118	25	25	0.3	-	25	-	88	普	A	
	CW50S	50	88	113	138	20	20	0.3	-	20	-	105	普	A	
	CW60S	60	98	128	158	35	35	0.4	-	35	-	119	普	A	

備考 — : 橋軸方向圧縮時において側板またはフェイスプレートの接触により遊間がなくなる場合

* : 実測値

(注) 上記製品は、改良などにより予告なしに変更することがあります。
中心基準温度とは橋種における温度変化量の中心の温度である。

構造形式記号

A: 鋼材

C: G⁺M+鋼材

B: G⁻M

D: 特殊合材

ニッタ株式会社

製品名	伸縮装置名 (型式名)	常時性能				レベル1地震時性能						重量 kg/1.8m ※kg/m	区分け 軽量型 =軽 普通型 =普 重量型 =重	構造 形式	備考
		標準性能				橋軸性能				橋軸直角性能					
		設計伸縮量 (mm)	最小遊間 (mm)	標準遊間 (mm)	適用最大 床版遊間 (最低温度時) (mm)	中心基準温度からの 許容伸縮量(mm)		限界状態1の 耐荷性能 (kN/m)		中心基準温度からの 許容伸縮量(mm)	限界状態1の 耐荷性能 (kN/m)				
						伸び	圧縮	伸び	圧縮						
AFジョイント	AF50	50	25	50	75	25	25	-	-	0	-	19	軽	A	歩道専用
	AF70	70	50	85	120	35	65	-	-	0	-	23	軽	A	
	AF100	100	50	100	150	50	50	-	-	0	-	24	軽	A	
	AF160	160	40	120	200	80	90	-	-	0	-	32	軽	A	
WFHジョイント	WFH200	120	140	200	260	120	90	-	-	0	-	189	軽	A	歩道専用
	WFH300	200	200	300	400	200	130	-	-	0	-	250	軽	A	
	WFH400	280	260	400	540	205	170	-	-	0	-	278	軽	A	
バリアレックス-M バリアレックス-C	No.12	55	65	92.5	120	27.5	27.5	-	-	-	-	※1.1	-	発泡体	乾式止水材 -M:標準地域仕様 -C:寒冷地域仕様
	No.16	81	79	119.5	160	40.5	40.5	-	-	-	-	※1.2	-	発泡体	
	No.20	107	93	146.5	200	53.5	53.5	-	-	-	-	※1.4	-	発泡体	
	No.24	133	107	173.5	240	66.5	66.5	-	-	-	-	※2.0	-	発泡体	
	No.28	159	121	200.5	280	79.5	79.5	-	-	-	-	※2.1	-	発泡体	
	No.32	195	135	232.5	330	97.5	97.5	-	-	-	-	※2.1	-	発泡体	
	No.36	221	149	259.5	370	110.5	110.5	-	-	-	-	※2.4	-	発泡体	
	No.40	225	185	297.5	410	112.5	112.5	-	-	-	-	※2.9	-	発泡体	
	No.46	264	206	338	470	132	132	-	-	-	-	※3.2	-	発泡体	
	No.52	303	227	378.5	530	151.5	151.5	-	-	-	-	※3.5	-	発泡体	
	No.58	342	248	419	590	171	171	-	-	-	-	※3.7	-	発泡体	
	No.66	394	276	473	670	197	197	-	-	-	-	※4.1	-	発泡体	
	Mo.74	446	304	527	750	223	223	-	-	-	-	※4.4	-	発泡体	
No.82	498	332	581	830	249	249	-	-	-	-	※4.8	-	発泡体		
No.90	550	360	635	910	275	275	-	-	-	-	※5.1	-	発泡体		
No.98	602	388	689	990	301	301	-	-	-	-	※5.4	-	発泡体		

製品名	伸縮装置名 (型式名)	常時性能(標準性能)					レベル1地震時性能(橋軸性能)		重量 kg/1.8m	区分け 軽量型 普通型	構造 型式	備考
		許容せん断量 橋軸方向	許容段差 鉛直方向	最小遊間 (mm)	標準遊間 (mm)	最大遊間 (mm)	中心基準温度からの 許容せん断量(mm)	限界状態1の耐荷性能 (kN/m)				
タテメジャー	LJ-50	70	50	-	230	250	70	-	152	普	C	縦目地専用(定尺1.2m)

備考 - : 橋軸方向圧縮時において側板またはフェイスプレートの接触により遊間がなくなる場合

構造形式記号

* :実測値

(注) 上記製品は、改良などにより予告なしに変更することがあります。
中心基準温度とは橋種における温度変化量の中心の温度である。

A:鋼材
B:ゴム

C:ゴム+鋼材
D:特殊合材